



12
 2013

主題 (2013/2014)

国際会長 Go Ye Into All The World Extension Extension Extension
 「全ての世界に出て行こう」 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
アジア会長 Start Future Now One Asia One World
 「未来を始めよう、今すぐに」 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
西日本区理事 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them
 「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」
中西部長 「ワイズの価値を見直そう」
大阪クラブ会長 「85年を振り返って更なるYのサポートを」

会長 石橋ルキ
直前会長 北村知三
副会長 五条孝次郎
 脇本博利
 豊島正汎
 清水大盛
書記 村井達司
会計 松原伸幸
プリテン 藤岡宏樹
連絡主事

【今月の聖句】

「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」
 ヨハネによる福音書第3章16節

【12月クリスマス例会プログラム】(EMC - M 強調月間)

(大阪クラブ・茨木クラブ合同例会)

と き：2013年12月10日(火) 18:30~21:00

と ころ：大阪キャッスルホテル(大阪天満橋) (地図参照)

会 費：メン・ビジター・メネット 6,000円

コメット 4,000円

総合司会 岡村 千陰(茨木クラブ)

1. 開会挨拶と開会点鐘 長田 英子(茨木クラブ会長)

ワイズソング・ゲスト紹介

2. 第1部 クリスマス礼拝

賛美歌 112番(もろびとこぞりて)

聖書朗読 藤岡 宏樹(大阪クラブ)

(ヨハネによる福音書第3章16節)

クリスマスメッセージと祈禱 藤岡 宏樹(大阪クラブ)

3. 第2部 クリスマス祝会

食前感謝 「日々の糧」斉唱

乾杯 塚 理中西部部長

晚餐と懇談&演奏

馬淵 清香さんによるバイオリン演奏

4. 第3部 オークション他 司会 山崎 憲(茨木クラブ)

脇本 博(大阪クラブ)

(オークションへの提供品をご持参ください。希望価格をお付けください。)

誕生日・結婚記念日のお祝い



於 85周年記念例会



於 とさぼりカーニバル

クリスマス献金（ニコニコ アワー）

Y M C A ニュース・インフォメーション

賛美歌 109番（きよしこの夜）・Y M C A の歌

6. 閉会挨拶と閉会点鐘 石橋 ルキ（大阪クラブ会長）

受 付：村井、尾和、北村メネット（大阪クラブ）

【第2例会のご案内】

とき：2013年12月17日（火）19：00～21：00

ところ：ところ：大阪土佐堀Y M C A 5階 504号室（変更になることがありますので、ご注意ください。）

今月のお誕生日：五条孝次郎（2）森嶋弘明（17）

メネットさんお誕生日：該当者なし

結婚記念日：松原伸幸（24）

【【聖句に寄せて】

石橋 ルキ

馬小屋に生まれたイエス、この小さいものが神の独り子なのです。クリスマスとは、神がこの世を愛されて、その独り子を送られたことです。悪や困窮や、失望や病、罪で満ち満ちたこの世界を愛されたのです。独り子という最大の神の賜物を信じる時のみ「永遠の命」のあることを忘れてはなりません。

【演奏者紹介】

バイオリニスト 馬淵清香（まぶち さやか）さん

大阪府出身。3歳からバイオリンを始め、1990年全国学生音楽コンクール第1位入賞。桐朋学園大学在学中にシエナ（伊）のギジアーナ音楽祭でギジアーナ・ディプロマ賞受賞。卒業後、コンセルヴィヴァン・オーディション最優秀賞やイタリアのグッピオ国際 Duo コンクール入賞など受賞多数。

現在、弦楽合奏団ジャカセプト等のメンバーとして、また、オーケストラ、室内楽、ソロ等フリーでも活動。

【85周年記念（11月）例会出席状況】

11月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	16	13		4	2	多数	81.2%	14,000円
	功労広義会員	2							
	合計	18	13		4	2	多数		

85周年記念（11月）例会の出席者

メネット：脇本真知子メネット会長、清水佐智子、北村信子、崔金順メネット

ビジター：下記のとおり

ゲスト：下記のとおり

来賓：岡野泰和アジア地域会長・国際議員

高瀬稔彦西日本区理事・浅岡徹夫区直前理事

末岡祥弘大阪YMCA総主事・林秀彦奈良YMCA理事長

松本武彦次期区理事・桂厚子京都部部长・飯沼眞阪和部部长・塚理中西部部长

YMCA：田尻忠邦日本YMCA同盟・立山英展

(姓名省略)

中部(名古屋クラブ) びわこ部(大津クラブ) 京都部(京都・グローバル・トップ) 六甲部(神戸・西宮・宝塚・芦屋) 阪和部(和歌山・奈良・サウス・堺・河内・長野・泉北・紀ノ川) 中西部(土佐堀・高槻・センテニアル・西・茨木・セントラル・なかのしま)

【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2013年11月19日(火) 19:00~21:00

場所：土佐堀YMCA 5F504号室

出席者：石橋会長・清水汎次期中西部部长・北村・尾和・松原

協議事項

1) 12月10日(火) 茨木クラブとの合同クリスマス例会について

場所：キャッスルホテル、 開始：18:30分から

会費：@¥6000(但し、HHリーダー会 @¥2000、YMCAスタッフ：招待)

プログラムは、今年は茨木クラブが準備する。(11月26日までFAXしてもらおう) 例年通り

一部：例会セレモニー(聖書朗読・祈りは、藤岡連絡主事、ヨハネによる福音書第3章16節)

二部：音楽演奏・会食

三部：チャリティーオークション：大阪クラブ 脇本メン(YMCAへの献金とする)

: 献金と費用については、例年通り人数割とする。

: その他の検討事項について：バナーなど持参する

: 出席者の確認の件：書記が確認する

2) 2014年1月11日(土) ブランピアホテルでの、中西部合同新年会の件

大阪クラブは、第1例会とする

参加者の確認について：12月10日の合同例会で参加者を確認する。

3) 2014年1月23日(木) は、錦城閣にて新年会兼第2例会とする件

会費：@¥4000 - (但し、HHリーダー会@¥2000、Yスタッフ；招待)

4) 会員動向・EMCの件

(ア) 能勢嘉則メンが、都合により12月末で退会の件：了承された。

(イ) 京都クラブ・神戸クラブとのトリプルDBC締結の件：

3クラブのDBC締結の協議を継続して進める。

(ウ) その他：継続してEMCに努力する。

5) 次期中西部キャビネットからの報告(清水汎次期中西部部长)

(ア) 主査候補者の確定の件：5主査のうち、未定のEMC主査は、次期入江事務局長に兼任していただき、メネット主査は継続して検討推進する。

(イ) 中西部計画・方針の件：2014年9月20日、大阪天満橋「錦城閣」で、15:00-18:00、スピーカー候補「元淀川キリスト教病院長 柏木哲夫」氏に内定。藤岡連絡主事を通して、確定し、合同新年会でチラシを配布予定。

(ウ) その他：ブリテンに85周年記念事業のHHファンドの経理報告を載せる。

6) ブリテン編集方針について：松原ブリテン委員長より、編集方針説明があった。

85周年記念例会会計報告 会計 村井 達司

会場費 Y M C A 9 0 3号室 (5時間) ¥60.480- (テーブルクロス (@480×18) ¥7.560 含む。)

垂れ幕 キャッスルホテル ¥5.000-

菓子、お茶、紙コップ類 ¥27.285-

以上、出費合計 ¥92.765-

これに別途、オリエンタル株のパンフレット等の印刷代が加算になります。(請求書未着)

祝儀は 1 1 クラブより頂きました。合計 ¥160.000-

神戸クラブ・大阪サウスクラブ・大阪高槻クラブ・奈良クラブ・堺ワイズ (谷川会長名) ・和歌山クラブ・西宮ワイズ・大阪泉北クラブ・和歌山紀ノ川クラブ・芦屋クラブ・高瀬西日本区理事

印刷費が未定ですが、おかげさまで皆様のご努力で予算の 10 万程の出費です。

【大阪クラブ創立 85 周年記念例会記録】

会長 石橋 ルキ

去る 2 0 1 3 年 1 1 月 2 日 (土) 表記の記念例会が大阪 Y M C A 土佐堀会館で開かれた。9 5 名の他クラブメンバーの参加を得て、盛会であった。第 2 部で “ ワイズメンズクラブの源流を学ぶ ” と題してパネルディスカッションが行われた。清水汎、脇本博、末岡祥弘メンがパネリストを務めた。

当日、場内の多数のワイズメンより、さすが伝統ある大阪クラブのメンバーらしく、お三方の話は内容が濃く、ワイズメンとしての心構えがはっきりと感じることができ、実に有意義な時間であった、とのお褒めをいただいた。以下、お三方の提言の要約を記述して、ご紹介する。

清水 汎 過去を語る

* 1 9 2 8 年 1 1 月 1 0 日日本で初めての国際クラブ大阪ワイズメンズクラブが誕生した。国際認証状のナンバーは 2 8 1 1 1 0 であり、1 1 月 1 0 日が日本のワイズデーとなっている。以来 8 5 年が経過した。

* 大阪ワイズメンズクラブへの貢献著しい人々。奈良伝総主事。大阪のみならず横浜、神戸、東京にもクラブを創立した、日本ワイズの指導者。鈴木謙介氏。大丸常務、東京支店長、日本人初の国際会長。緒方準一氏。緒方洪庵の子孫で奈良医科大学教授。菅田栄治氏 大阪大学電気工学部教。岩越重雄氏 長く Y M C A 理事長であった。三井満寿雄氏 1 0 2 歳まで大阪クラブのシンボルであった。

* 全国各地に 2 3 の子クラブを創った。

* 1 9 4 5 年終戦直後の物不足の時、パサデイナクラブより衣料品、食材などが送られる。

以来 I B C クラブとして、コメントの短期ホームステイ交換が行われている。

* 1 9 5 8 年 3 0 周年。この頃が最盛期。メンバー 5 3 名は政財界の大物多く、新入会は難しかった。

* 今、中西部のメンバー減少で沈滞しているが、ワイズメンズクラブは他の社交クラブと比較しても、その思想性と論理性に優れており、自信を持って語り、新入会者を誘って欲しい。

以上、簡略に要点を述べられたが、当日のテキスト “ 源流を学ぶ ” には詳しく、わかりやすく 8 5 年の大阪クラブの歴史と行動が記されており、要保存の清水メンの力作である

脇本 博 現在を語る

1 9 9 3 年チャーター 6 5 周年の記念事業として聴覚障害青少年育成基金を設立した。

1 9 9 8 年 5 年後に基金は 5 0 0 万円に達した。

国際聴覚障害青少年キャンプの支援 要約筆記のボランティア養成講座を開設、4 7 名の参加者。

難聴中学生の学習支援 難聴高校生の英語学習支援、など聴覚青少年育成が始まった。

特に、国際 H H キャンプはノーマライゼーション化の中で孤立を深める難聴者が異国の仲間を見つけ、互の境遇に共感を感じ、生きる力を付けることは国際キャンプの最大の効果である。

2 0 0 4 年

上記のプログラムの開始から6年後、難聴者向けの講座は参加者が減少して中止を余儀なくされた。HHキャンブは残った。難聴青少年育成は、欧米のノーマライゼーション化により難聴者に特別な配慮は不必要という論理で、難聴者支援が止まってしまった。

支援目的を失った大阪クラブも例会の活気がなく、奉仕意欲も沈滞した。

その時、チャリティー映画上映はどうか、との提案が田尻連絡主事からあった。サンプル上映の映画は、鳥根県の若い聾啞女性の義足装具者が主人公。友人の誘いでアフガニスタンを訪問する。地雷で手足を失った子ども達をたくさん見かけた。片足をなくした一人の少女と知り合い彼女のために。日本で義足の製作に取り掛かる、という内容であった。

2005年3月 この独立プロ制作のアフガンロケ映画「アイラブピース」は地方での一般人を集めて制作費回収の映画となっていたので、大阪クラブとしても障害者支援のテーマに共感し、借り上げ上映を果たすべくワイズメン有志にチケットを買い上げてもらって2回公演のチャリティー興行を打った。

多数の同調者を得て、40万円の収益が出た。これを大阪Yの障害者プログラムに献金したが、一部は同盟を通してアフガン難民のために使われた。

2007年第32回国際HHキャンブが阿南海洋センターで開催された。各国191名の参加があったが、主催国大阪YMCAは多額の運営費支出が要求されるので、大阪ワイズにも支援金供出が求められ、100万円を寄付した。

2008年大阪クラブ80周年祝会が華々しく行われた。

2010年マレーシアペナンで国際HHキャンブが開かれたが、日本からの参加者は極めて少なくこんな状態ではHHキャンブの支援も止めようか、との意見も出始めた。

ところが、過去の国際キャンブ経験者のOB・OGから、こんな有意義なキャンブを支援しないなんて、とんでもない。私たちも手伝います。国際キャンブの無いときには国内キャンブを実行しましょう、と積極的に乗り出した。

2011年 彼らの提案に応じて六甲国内キャンブが行われ、OB・OGユースリーダーによる難聴者ならではのきめ細かい教育的配慮が加わった。

2012年 香港で国際キャンブが開催されたが、やはり日本からの参加者は少なかった。

2013年 阿南海洋センターで国内キャンブが実施された。

奉仕活動の総括 ワイズメンズクラブは奉仕と社交の二面を持っています。奉仕が欠ければ魅力は

半減します。社会学の基本に社会利益追求のための利益社会。血縁重視の共同社会の二つがあるが、奉仕事業に参加する人の間には自然発生する素晴らしい人間関係は奉仕仲間社会と言えるでしょう。

ワイズの思いをYは良く理解してくれています。よくYYフォーラムではワイズとYのすれ違いが論議されますが、決してワイズの片思いではなく、大阪ワイズの思いに大阪Yは応えていてくれます。

末岡 祥弘 未来を語る

* Yとワイズは青少年を育成するという理念を共有し、両立している。

* Yの事業は常に評価をすることで、より魅力ある活動で人を集め、常に変化を続けている。

* 19C.戦前のYは一般社会から閉ざされていた20C後半から21Cに一般社会に開かれ、施設も多く建設された。

* 日本での社会の要請は、今までの青少年を育成するから、世界のグローバル化に対応できる青少年を育成する、変わった。

* YMCAは変革(チェンジ)を求められ、世界120ヶ国のYMCAを束ねるYMCA世界同盟はチェンジエージェンシーにならなければならない。目的 青少年のエンパワーメント。青年にグローバルな力を付ける。 Yの大きな資産を分散し、且ついろんな可能性を集約する。 ブランディング。ワイズメ

ンを除く一般の人々にY M C Aの目的を明確に伝える。

※大阪Y M C Aも上記に呼応して二つの使命を宣言している①若い積極的なチェンジメーカーとなる青年を育てる。 共に生きる福祉社会の構築に努力する。

※具体的なプログラムとして①東アジア10のY M C Aとネットワークを組み、青年の交流を図る。

日本語学校留学生によるフォーラム。 香港Y M C Aへの日本人保育士の派遣。 台中Y・台中市と提携。 介護予防教育の推進。 台中よりサンホームに研修生受け入れ ユニY (ユニバーシティーY = 学Y) 香港大学に5000人のユニY生あり、シンガポール大学にも多数のユニY生がいる。 今回大阪大学の学生を3名、香港に派遣してフォーラム開催。 来年1月には香港大学ユニY生が来日。 阪大でフォーラムを予定。

※大阪Yが抱えるチェンジメーカー①400名のユースボランティア②600名の留学生③1200名の10代の高校生 150名のインターナショナルスクール生 6000名の10代のユースキャンパー 1000名のYスタッフ

大阪Yはユースボランティアに一度はアジア諸国のワークキャンプなどで海外を経験させる、など、きめの細かい対応でチェンジメーカーを育てようとしている。

☆

会場からの反応

灰谷隅夫 (土佐堀クラブ) 私が30代の頃、奈良伝さんが藍綬褒章を貰われてその祝賀会があった。なかなか面白いあいさつをされた。奈良さんは必ず心に残る話をされた。10分の話でも、心に残る箇所を1ヶ所入れられた。わたしも勉強して人に話をするときには心に残る話をするよう心がけたい。今日の85周年は奈良さんも天国で喜んでいるでしょう。私も奈良さんに結婚の仲人をしてもらったことも含めて、この機会にお礼を言っておきます。

鉄谷 明 (大阪サウスクラブ) 清水さん脇本さんの話を聞いてワイズメンであることは良かった。末岡総主事の大阪Y M C Aの大きな流れの話を聞いてY M C A会員であって良かったと思った。ただ一つ不安なのは若い人のための若い人によるY M C Aということですが、私たちワイズのユースへの思いを理解してくれるか、ということ。400名のユースリーダーが、6000名のユースキャンパーがY M C Aから離れても、世界のチェンジメーカーに成りうるのか、という点である。

岡野 泰和 (土佐堀クラブ、アジア会長)

Y M C Aでは将来、社会の変革を担える人材を育成している。日本ではチェンジメーカーと呼ばれるが、世界同盟ではチェンジエージェントと言われ、世界で250名が選ばれチェンジエージェントとしての訓練が始められている。ワイズメンは国際で、アジアで、地域でこの方向を支援する必要があります。

【2013土佐堀カーニバル参加報告】

北村 知三

11月3日(日)土佐堀カーニバルが例年のごとくにぎやかに行われました。

当日、実行委員は8時に土佐堀館に集合、主に安全衛生などその日の活動事項を確認しました。今年大阪クラブの屋台は昨年までの焼きそばからカレーライス屋台に変わりました。この日、森嶋さんご夫妻は都合で来られず、同社社員の岡元さんが代わりに来られました。8階の2つの教室を使ってカレーライス保温の場と飲食のスペース、および受付場所を2人でセットアップ。すでに同社調理場で料理炊飯したカレーやご飯を、地下駐車場から岡元さんが持って上がってきて、3つの大きな保温器や資材の箱などとともにセットアップ。2つの教室のおよそ15のテーブルにビニールクロスをかバーする作業を、不器用に手伝う。盛り付け用保温器のテーブルの上にもカバーをかける。そのうち、條さんが来て手伝ってもらいました。

10時過ぎ尾和さんが来て、條さんとともに屋台受付を担当してもらうことにしました。11時開始から

以後2時ごろまで3人がかりでカレー販売受付しました。HHリーダー会やキャンパーの人たちは、3時間フルに入れ代わり立ち代わりカレーの盛り付けをしてもらいました。HHリーダー会は、カレーライスとは別に受付横に小さなテーブルを置き、中津で行っている聴覚障がい者によるフリーマーケットの販売品の一部を持ち寄って、売上金の一部をYMCAへ献金するという奉仕もしました。

雨模様のこの日、ビルの外では少しは雨が降ったそうですが、10階テラスを使わなくなった今年は、雨天の心配もなくなりました。会館入場受付係には脇本メネットが奉仕しました。今年も1,200人あまりの入場者だったそうです。カレーライスは1皿¥300-を190食売上、収益¥35,600.-をYMCAへ献金しました。大阪クラブからの献金額は、土佐堀カーニバルでは、例年1位か2位であることをお伝えします。端数の一部をニコニコへ入れることにしました。またHHリーダー会が、カレー店の横にテーブルを置いての販売収益からも、2千円あまりをYMCAへ献金しました。

閉会后、後片付けや、教室の机椅子を元通り配置、HHのみなさんが最後まで手伝ってくれました。終わった後、藤岡連絡主事を交えて、脇本メネット差し入れのおまんじゅうをみんなでいただきながら、打ち上げ談笑しました。

当日参加者は、(敬称略)HHリーダー会・・・西村智恵(会長) 小山真利子、桜木貴博、西村佳恵、
脇本英実(勝矢千晶さんの友人)

HHキャンパー・・・田淵優花、辻文成、福満佑斗、辻君のお母さん、
福満君のお母さん

通訳・・・・・・・・伊田洋子

クラブからの参加者は、條、尾和、牟、脇本メネット、北村です。そして森嶋さんには今年も食材提供、料理奉仕していただきました。この日は森嶋さんご夫妻が都合で来られませんでした。同社の岡元さんには屋台設営販売準備から後片付けまでいろいろお世話になりました。森嶋さんならではのカーニバル出店となっております。

さらに直前連絡主事、現YMCA同盟、田尻さん(東京山手ワイズメンズクラブ)もカレー屋台にご夫妻で寄っていただきました。田尻さんからは、前日の周年記念例会で聴覚障がい青少年育成基金へ3万円の献金をいただいております。

今年もクラブから多くの献金ことができましたこと、皆様に感謝です。

【メネット会】

メネット会長 脇本 真知子

85周年記念例会で、大阪クラブメネット会より、各テーブルへ造花を提供させていただきました。メネット会の発案で、HH キャンプリーダー会への寄付を募るため例会参加者に購入をお願いしました。計32,000円の募金となり、11月3日土佐堀カーニバルの会場で、リーダー会に手渡しました。
(1ページの写真参照)

【聴覚障がい青少年育成基金への献金についての報告とお礼】

85周年記念事業実行委員長 尾和信孝

クラブ会長 石橋ルキ

過日の創立85周年記念例会が成功裏に開催することができましたことは、皆様の多くのご献身のおかげでございます。

また85周年記念事業としてクラブの社会奉仕活動である、聴覚障がい青少年育成支援事業への献金もほぼ目標額に達することになりました。

記念事業へのワイズメンの献金合計額	¥ 9 1 5 , 0 0 0 . -
オリーブオイルファンド献金額	¥ 6 6 , 6 7 5 . -
8月納涼例会でのオークション献金額	¥ 2 3 , 0 0 0 . -
西日本区CS資金からの支援金額	¥ 9 0 , 0 0 0 . -

合 計 : ¥ 1 , 0 9 4 , 6 7 5 . -

この中には、他クラブの片岡功様（広島クラブ会長）、田尻忠邦様（東京山手）からのご献金も含まれております。

募金期限の11月末日となりましたので、今回の記念事業活動としての募金はひとまずこれにて終了させていただきます。

皆様のご支援ご協力に厚くお礼申し上げますとともに、今後もさらにこの活動を継続していきますので、いつでも献金をしていただければありがたく存じます。

これからもなにとぞ皆様の積極的なご支援をお願いいたします。

振込先	三菱東京UFJ銀行	中之島支店
または 持参	普通預金口座	092 - 3826152
	口座名	大阪YMCA視聴覚障害青少年育成基金

【YMCAニュース】

大阪YMCA第19回チャリティーラン2013報告

日程：2013年10月14日（祝・月） 場所：大阪城公園 極楽橋北側広場・京橋口

快晴の下で実施されたチャリティーランは、ランナー総勢276名、ボランティア総勢約350名の人々が集い、気持ちのよいチャリティーの汗を流しました。

皆様のご協力により、10月14日現在、2,825,416円の支援金を集めることができました。

第10回とさぼりカーニバル報告

日時：11月3日（日・祝）11:00~14:00

今年13回目になったとさぼりカーニバル。昨年より子どもが54人増え221人、大人998人、計1219人の方が来場されました！マイ食器、マイカップもすっかり定着いたしました。

この日はクリスマス献金キックオフでもあり、第一号献金者として総主事にステージで献金いただきました。約40万円がクリスマス献金に捧げられました。

大阪YMCA/関西韓国YMCA/大阪YWCA 合同祈祷週集会報告

2013年11月14日（木）18:30~20:30 大阪YWCAにおいて開催されました。大阪YMCAからは、25名の参加者があり、第1部の礼拝では、小栗 献牧師（神戸聖愛教会）の『神の求める「変革」となる』をテーマにメッセージを伺い、第2部のお食事と交流のひとときでは、YWCAの皆様の温かくておいしい手料理をいただきながら歓談の時を過ごしました。恒例の各Y出し物は、大阪YMCAからは、和田早苗さんの奏楽で参加者25名による讃美歌2曲と活動紹介をパワーポイントでおこないました。共に祈る大切な時を過ごすことができました。

来年は、大阪YMCAがホスト役となります。今から楽しみにしたいと思います。

第248回大阪YMCA早天祈祷会

日時：12月20日（金）7:30~8:30 場所：大阪YMCA会館 10Fチャペル

証し：小笠原 純 牧師（日本基督教団高槻日吉台教会）

クリスマス献金のお願い

今年度はワイズ代表者、土佐堀各部門代表者が集まり、クリスマス献金拡大実行委員会を行い、献金の意義、目的を確認し、どのように賛同者を得、集めるかを協議しました。

一部紹介します。

「私たち一人ひとりがクリスマス献金の意味を自分の中に落としこみ、それぞれ現場の子ども達学生生徒にどう伝えていくか、学生や保護者、会員にどう理解いただくかが大切である。

土佐堀Y M C Aではここ3年献金額があがっているが、それはこのクリスマス献金に賛同し、一緒に集めようとした人が増え、集めるために動いた人の言葉や使い方に多くの方が賛同し、アンパンマンのように自分の身をけずって、いたみを伴いながら献金していただからだと思われる。献金の向こうに必要とされる子どもや人々の顔を想像したい。」

フィリピン台風30号緊急支援募金

ご存知の通り11/8(金)にフィリピンを直撃した台風30号による被害は、甚大なものとなっています。緊急支援といたしまして以下の通り募金を募ります。どうぞクリスマス献金とは別にお考えいただき、ご協力ください。(* 詳細は別紙チラシをご参照ください。)

<募金期間> 2013年11月13日(水)~2014年1月15日(水)

<目標額> 100万円

<募金使途> 食料、飲料水、衣料品、毛布、医薬品など緊急支援物資を被災者へ配布。
被災地域から避難してきた人々への緊急避難所提供やその他支援活動。
被災者した人々への職業訓練などの復興支援(予定)

<募金の流れ>

各Y M C A 大阪Y M C A 日本Y M C A 同盟 アジア・太平洋Y M C A 同盟 フィリピンY M C A

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 中西部合同新年会・・2014年1月11日(土)15:00~18:00 於: ホテルグランヴィア大阪20F
大阪クラブの第1例会を兼ねます。

参加希望者は、牟 大盛書記宛(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【編集後記】

フィリピンの台風被災の方々にお見舞い申し上げます。メンバー各位には、85周年記念例会へのご奉仕に尽力され、お疲れ様でした。急に寒くなりました。72候では、11月27日ころから12月1日ころまで、朔風払葉(きたかぜこのはをはらう)とされています。木枯らしにも負けずに、風邪もひかずに、クリスマス例会に元気に参加しましょう。(編集委員:松原伸幸)